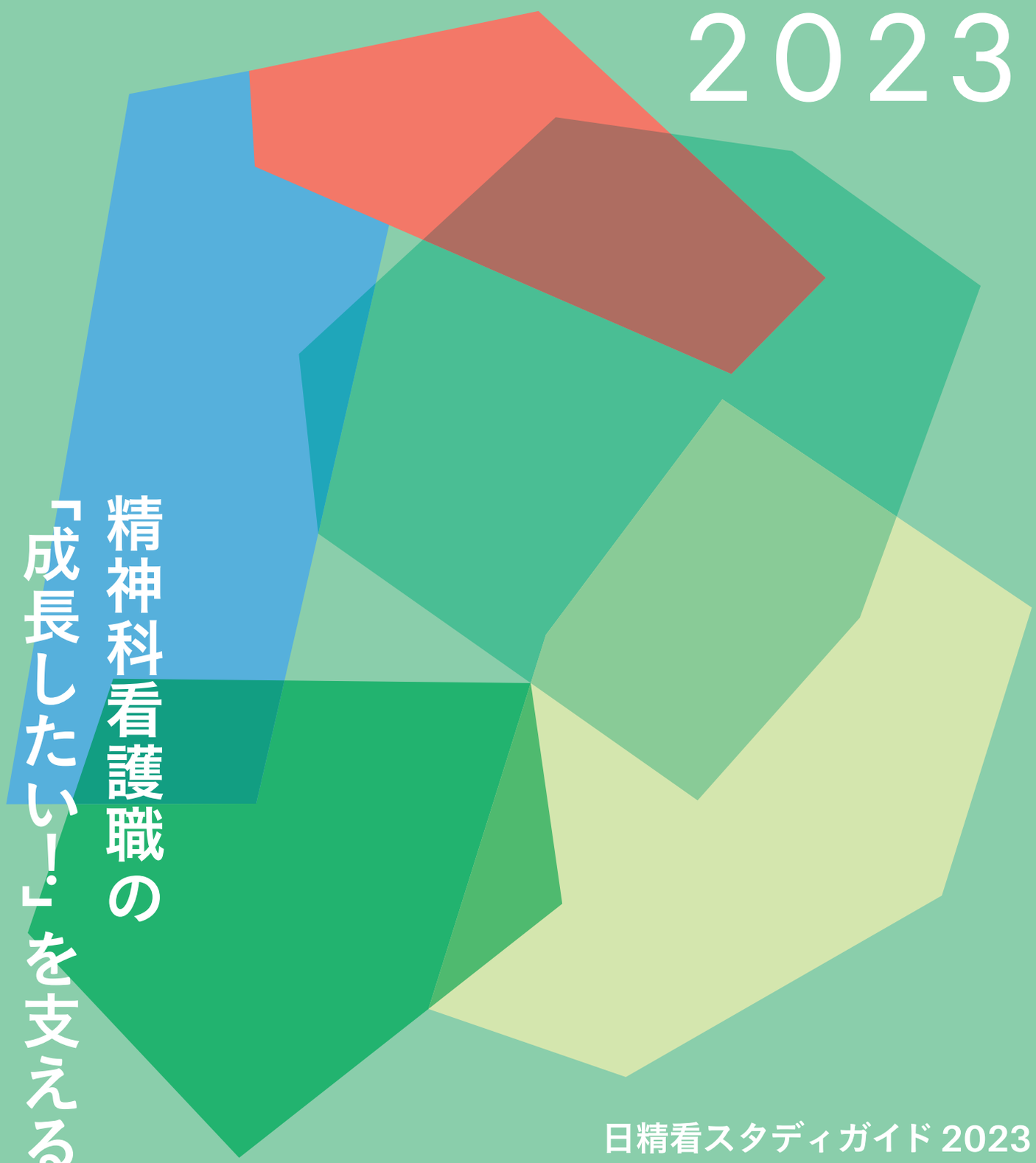
NISSEIKAN STUDY GUIDE 2023



精神科看護職の「成長したい！」を支える

日精看スタディガイド2023

日本精神科看護協会

精神科看護職の「成長したい！」

一般社団法人日本精神科看護協会（略称：日精看＝にっせいかん）は、活動理念を実現するために教育目的を掲げ、さらに毎年定める重点項目をふまえて教育事業を行っています。あなたの「成長したい！」にぜひご活用ください。

私たちがめざすこと

活動理念 ▶ こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくります。

活動理念の実現に向けて

教育目的

- 時代の変化に対応できる看護の知識・技術・思考を身につけ、信頼される看護を実践できる看護職を育成する
- 精神科看護の対象者と活動領域を広くとらえ、当事者およびすべての関係者を包含した看護を創造できる看護職を育成する

日精看が育成する看護職像

- 病態を含めた対象理解ができ、対象者がその人らしい生活をおくるための看護を実践できる看護職
- 患者の尊厳を守るための感性をみがき、自分の考えを表現できる看護職
- キャリアに応じた組織の変革・発展に必要な専門的能力、対人関係能力、概念化能力を備えた看護職
- 精神障がい者が地域で自立した療養生活を実現・継続できるよう、地域に目を向けた看護を実践できる看護職

特に今年度は

2023年度 重点項目

1 精神科看護職の倫理的感受性を磨くための教育活動を行う

精神科看護職の倫理綱領に示されている倫理指針について、全支部で研修会を企画実施し、現場の状況と照らし合わせて理解を促進する。

精神科看護の対象となる人々の治療・看護のあらゆる局面においてアドボケイトとしての役割を担うことについて理解し、実践することを促進する。

2 有事の際にも、精神科医療・看護を継続するための教育活動を行う

精神科医療・看護の場における災害（新興感染症も含む）発生時に、現場の特性を理解し、その状況に必要な知識、技術等の習得を促進する。

災害（新興感染症も含む）発生が心身に与える影響を理解し、看護職自身が感情をコントロールし、心身のバランスをとりながら、状況にあった看護の継続ができることを促進する。

3 「だれもが安心して暮らせる」地域づくりに向けた教育活動を行う

入院医療と在宅医療の連携を強化するため、病棟、外来、精神科訪問看護、地域で活動をする看護職のそれぞれの役割を理解し協働を意識した実践を促進する。

を支える日精看の教育事業

いろいろな学びの機会があります

継続学習にかかわる研修会	P.4–16	「精神科看護職のクリニカルラダー」（日精看版ラダー）をふまえて精神科看護実践能力に応じた研修会を行います
看護管理にかかわる研修会	P.17	精神科看護管理者に必要な知見を得られる研修会です
診療報酬の算定にかかわる研修会	P.17	診療報酬の算定に関する要件を満たす研修会です
看護実習指導者講習会	P.18	厚生労働省の示す基準に応じたプログラムで実習指導者を養成する講習会です
日本精神科看護学術集会	P.18	全国各地から精神科看護職が集まる日精看の学術集会です
精神科認定看護師制度	P.19	質の高い看護を実践できる精神科認定看護師を養成します

支部主催研修会

日精看の支部がそれぞれの都道府県で開催する研修会です。開催情報は日精看オンラインから「manaable（マナブル）」にアクセスしてご覧いただけます。開催についての詳細は支部事務局（日精看オンラインに掲載）へお問い合わせください。

本部主催の研修会がさらに受講しやすくなりました

オンライン研修（「オンデマンド配信」と「ライブ配信」）と集合研修を行います。

オンライン研修

＜オンデマンド配信＞

ビデオ学習のように一方向で講義を受ける形式で、配信期間中はインターネット環境があればいつでも何度でも視聴できます。2023年度は精神科看護の実践に必要な基礎知識を中心にオンデマンド配信します。

＜ライブ配信＞

リアルタイムで配信を行います。決められた時間にインターネットでアクセスする必要がありますが、オンデマンド配信とは違い、講師や受講者同士で双方向のコミュニケーションが可能です。

集合研修

事例検討会やフィジカルアセスメントなど、ディスカッションや演習を含む研修会は会場に集まる集合形式で実施します。主に東京研修会場で開催します（一部、地方開催もあります）。感染対策は厚生労働省の通知に従い、基本的な感染対策をしたうえで実施しますが、昨年度に引き続き、感染拡大の状況によっては、ライブ配信への切り替え、あるいは中止の可能性があります。開催方法の変更や中止の場合は「manaable（マナブル）」などで随時ご案内します。

東京研修会場（日精看本部事務局）

［アクセス］羽田空港から京浜急行で約20分、東京駅からJR各線で約10分、「品川駅」下車、港南口より徒歩10分

〒108-0075 東京都港区港南 2-12-33 品川キャナルビル 7F

TEL 03-5796-7033 ／ FAX 03-5796-7034

※電話でのお問い合わせは、平日の午前8時～午後5時までにお願いします。研修会が開催される土日祝日はその限りではありません。

申し込み方法

2023年度から新たにスタートする研修会システム「manaable(マナブル)」から行います。**詳細は本冊子の裏表紙**でご案内しています。

情報発信

日精看オンライン

パソコンでもスマホでも

jpna.jp

精神科看護の情報プラットフォームとして、日精看の教育事業に関する内容を含めさまざまな最新情報を発信。公式LINEや公式Twitter、メールマガジン等の日精看ソーシャルアカウントにもご登録いただけます。

日精看ニュース

日精看が発行している情報誌です。会員のみなさまへお届けしています。日精看版ラダーや学術集会、精神科認定看護師制度など教育事業をテーマにした連載や特集が盛りだくさん。

精神科看護職のクリニカルラダー「日精看版ラダー」をご活用ください

日精看では、4 つの看護職像 (P.2) の育成にむけて、たしかな精神科看護の実践能力を身につけるための継続学習支援として、2022 年度 (令和 4 年度) に「精神科看護職のクリニカルラダー」(日精看版ラダー) を公表しました。

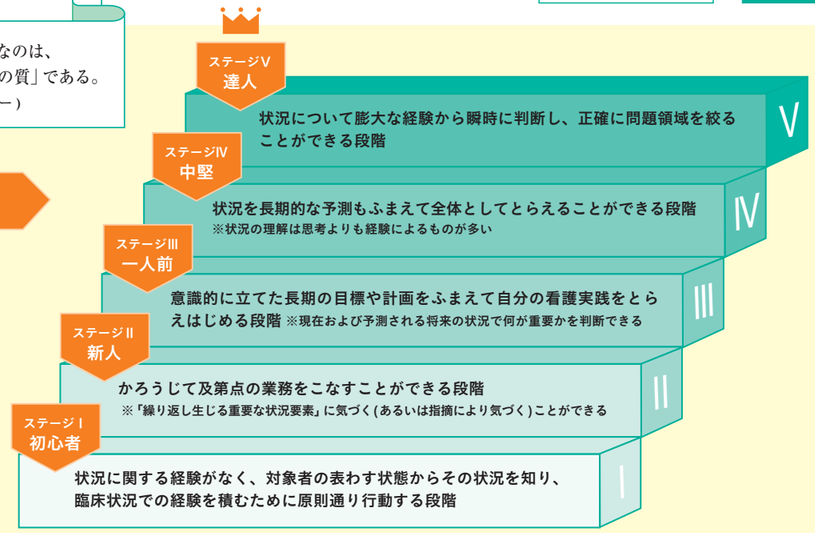
クリニカルラダーとは

クリニカル(clinical) ＝ 看護実践

ラダー(ladder) ＝ はしご

看護師にとって重要なのは、
「経験年数」ではなく「経験の質」である。
(パトリシア・ベナー)

ベナーの示す 5 段階
(経験年数によらない)



参考：パトリシア・ベナー著、井部俊子監訳
『ベナー看護論 新訳版－初心者から達人へ』
(医学書院)

看護職の能力開発・評価システムの１つです

「クリニカルラダー」は、看護教育の第一人者であるアメリカの看護理論家、パトリシア・ベナーの看護論をもとにした能力開発・評価システムです。「初心者」「新人」「一人前」「中堅」「達人」の 5 段階に分類され、到達段階に応じた看護実践能力が示されています (上図)。ポイントは、看護職にとって重要なのは「経験年数」ではなく「経験の質」であるという点です。つまり、経験年数を目安に「3 年目になれば一人前」「15 年経ったから達人だ」とはいえず、その人がもつ看護実践能力によって到達段階の評価が可能になるという考え方です。

活用することで、個人にも組織にもメリットがあります

◎各段階の到達目標を示しているので、自身が到達している段階や次のステップに向けた課題を確認でき、**自己評価や継続学習の指針**になります。

◎段階ごとに期待される看護実践能力が示されているため、**多様なバックグラウンドをもつ看護職**に対応できます。

◎段階が上がると、活動が広くなったり、深くなったり、新たな役割を担うようになるため、**仕事のやりがい**につながります。

◎教育担当者や管理者が、スタッフの**人材育成や能力開発**に活用することができるため、**組織の成長**を実現できます。

「日精看版ラダー」作成の背景

● 多様なバックグラウンドに対応するため	教育背景や臨床経験、プライベートの背景など、職員のバックグラウンドが多様化しているため、看護職個々の実践力や経験を活かしながら精神科看護の実践力を高める教育の仕組みが必要！
● どこにいても必要な教育が受けられるように	日本全国、どのような精神科看護実践の場であっても精神科看護実践に必要な教育が受けられる仕組みが必要！
● 難しい継続教育をサポートする	何事にも柔軟に対応していける精神科看護のプロフェッショナルに成長するために学び続けていく必要がある。精神科看護職の成長にはその指針が必要！

精神科看護職の成長をサポートする「日精看版ラダー」

精神科看護の職能団体として、日精看は「精神科看護職のクリニカルラダー」(日精看版ラダー) を作成しました (詳細は P.6 ～)。
2022 年度 (令和 4 年度) より、日精看本部主催の研修会は、この「日精看版ラダー」にもとづいて行われています。

日精看版ラダーの主なポイント

- **共通の指標**：看護実践の場や、看護職の背景にかかわらず、すべての精神科看護職に共通する看護実践能力を示しています
- **段階別の分類**：それぞれの段階に応じた精神科看護実践能力を示しています
- **適切な評価**：看護実践能力の適切な評価によって日本全体の精神科看護の質の担保・保障につながります

日精看版ラダーの活用によって

精神科看護の対象となるすべての人々に対して、安全で、安心できる高品質な看護を提供することができます

日精看版ラダーで示している「看護実践能力」を構成する 5 つの力

ケアの対象者が立ち会う場面 (治療、生活等) において、その人らしい選択ができるための意思決定を支える

ケアの対象者を中心に、情報やデータを多職種間で共有し、ケアの方向性を検討、連携する

意思決定を支援する力

ニーズを把握する力

関係性を構築する力
精神的健康の回復・維持に重要な信頼関係の構築

協働していく力

ケアを行う力

ケアの対象者をとらえ、判断し、その人に適した方略を選択する

ケアの実施・評価を行う

看護実践能力を高める！精神科看護職が成長するために必要なこと

- OJT により、精神科看護職としての知識や技術、考え方、姿勢を身につけること
- 看護実践能力が自己および他者により適切に評価されること
- 自身の現状、課題、そして次のステップに向けて取り組む方向性が明確であること

「日精看版ラダー」および日精看の研修会をぜひご活用ください

日精看版ラダー詳細 次ページ
研修会一覧 P.12

各種資料やツールをご活用ください

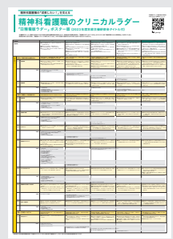
日精看オンライン

▶jpna.jp/education/ladder

日精看版ラダーの導入や活用、運用に役立つ動画などさまざまな資料やツールをご用意しています。『日精看ニュース』連載「密着！日精看版ラダー導入への道」もまとめてご覧いただけます。また、会員専用ページでは「日精看版ラダー」Excel 版 (チェックボックス付) もダウンロードできます。

本冊子の特別付録ポスター

日精看版ラダー表に、レベルや項目に合う 2023 年度研修会名を併記した特大ポスター (A1 サイズ) を本冊子と一緒に会員施設へお届けしています。病棟の休憩室や看護部などに掲出する、会議室でテーブルに広げて今後の計画に役立てるなど、ぜひご活用ください。



精神科看護職のクリニカルラダー(日精看版ラダー)

到達段階			レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
到達目標			●基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得ながら、安全に看護を実践できる。 ●部署のマニュアルを活用し、看護を実践できる。 ●自己の教育的課題を発見し、主体的に学習できる。 ●社会人として、組織の一員であることを理解し、職場のメンバーとしての役割を全うできる。	●根拠のある判断、看護実践ができる。 ●対象者の希望をふまえ、看護計画に基づいて、自立して看護を実践できる。 ●自己の教育的課題達成に向けた教育活動を展開することができる。 ●判断に迷うときは、自ら他者に相談し、メンバーシップを発揮して看護を展開できる。 ●対象者とのかかわりのなかで自身の課題を明らかにすることができる。 ●所属施設の理念や方針を理解し、組織の一員として、自覚ある行動ができる。 ●コスト意識を持つことができる。	●対象者の個別性を理解し、状況に応じた看護を実践できる。 ●自身の課題を克服しようと取り組み、自身の強み、弱みを意識して、自身の持ち味を活かした看護ができる。 ●自己の教育活動に積極的に取り組むことができ、指導的役割も意識して行動することができる。 ●組織の一員として、効果的かつ効率的に業務を行えるよう、メンバーや多職種と協働できる。 ●所属施設や部署の目標達成に取り組むことができる。	●全人的に対象者をとらえ、幅広い視野と予測的な判断をもって、対象者中心の看護を実践できる。 ●対象者の満足度を高めるために、チーム全体の動きを把握し、リーダーシップを発揮した行動ができる。 ●医療全体を理解するために、広い視野で必要な知識を獲得できる。 ●精神科医療の現状をふまえて、自分の役割を理解して、業務が効果的かつ経済的に効率よく行えるようスタッフに指導的にかかわることができる。 ●所属施設や部署の理念と方針をふまえて自己の役割を考え、主体的に行動できる。	●より複雑で対応困難な状況において、最良な手段を選択し、対象者の満足度、QOLを高められるよう高度な看護を実践できる。 ●役割モデルを意識しながら指導にあたり、現状にとどまらず、対象者のために看護を追求し続ける姿勢を持ち、創造的な看護実践を行うとともに、多職種と協働できる。 ●対象者を尊重できる看護職の育成に携わり、広い視野で教育的な役割をとることができる。 ●精神科医療の現状および所属施設の理念や部門の目標を理解し、積極的に職場の改革に参画し、看護の質向上のために変革的な行動ができる。
看護実践能力	**項目A 【目標】関係性を構築する力**		**対象者に関心を向け、対象者の視線や表情、雰囲気、態度から相手の思いを察知し、工夫しながら関係性をつくることができる。**	**受容的、支持的な態度でかかわり、対象者から信頼してもらえる関係性をつくることができる。**	**対象者の対人関係能力が高められるよう、看護職自身の抱いた疑問や異和感、感情を意図的に利用することができる。**	**複雑な状況下にある対象者らと、相互にゴールを共有し、協働を意識した関係性を築くことができる。**	**複雑な状況下にある対象者らと、自律に向けた関係性を深めることができる。**
	A1	関係構築	●普段のかかわりの場面から、対象者のペースを尊重し、脅かさずに一緒に過ごすことができる。 ●対象者の訴えを否定せずに聴き、対象者の体験を理解しながら、あるがままを受け入れることができる。	●対象者と対象者をとりまく人々に関心を示し続け、その背景や状況をふまえ、両者を尊重しつつ、看護職として何とかしたいという思いでかかわることができる。 ●対象者の年齢や状況、疾患の特徴に応じて、かかわるタイミングをはかり、対象者を尊重して対話ができる。	●対象者と対象者をとりまく人々のできていることや、わずかな変化に気づくことができる。 ●対象者に肯定的にフィードバックをしたり、意図的に気にかけていることなどを伝えることができる。 ●看護職自身が感情や行動を振り返る機会をもち、分け隔てなくかかわることができる。	●複雑な状況下にある対象者と対象者をとりまく人々のために何かできないかを常に考えながら、相互に目標を共有し、実施・評価する際に対象者らの参加を促し、かかわりを続けることができる。 ●どのような状況にあろうとも、対象者自身の気持ちや困っていることを表出できるように、根気強くかかわることができる。 ●表出されたことについて意見を交わし、相互に理解することができる。	●複雑な状況下にある対象者と対象者をとりまく人々との関係形成のプロセスをアセスメントし、対象者と看護職の相互作用によって自律に向けた関係性を築き、かかわりを続けることができる。 ●対象者の状態をみながら段階的にアプローチし、対象者が自己を理解し、自己決定ができるようにかかわることができる。
	A2	看護倫理	●看護職の倫理的行動について理解し、対象者の権利を尊重した看護の必要性を理解できる。	●倫理的視点を意識して看護実践できる。また、看護場面において、倫理的なジレンマに気づき、それを言語化し、相談できる。	●看護場面での倫理的ジレンマや問題に対して常にアンテナを立て、察知したこととその理由を言語化し、他者と共有、意見交換することができる。	●些細と思える倫理的問題に対しても、それを顕在化し、互いの価値観を尊重しながら、十分話し合い、チームで合意形成することができる。	●倫理的問題に対してリーダーシップを発揮して解決に向けた行動ができる。メンバーに対して、倫理的課題解決のための指導・支援ができる。
	項目B 【目標】ニーズを把握する力		**対象者の言葉や行動などから日々のニーズを考えることができる。**	**対象者の過去から現在までの状況を理解したうえで、日常生活上のニーズを中心にとらえることができる。**	**対象者および対象者をとりまく人々の個別的なニーズをとらえることができる。**	**対象者および対象者をとりまく人々のニーズを、QOLを意識して多角的にとらえることができる。**	**医療チームと連携し、対象者および対象者をとりまく人々の真のニーズをとらえることができる。**
	B1	情報収集	●対象者の反応や言動を観察し、基本的ニーズにかかわるセルフケア要素の情報を得ることができる。	●対象者の疾患による症状や障害の程度をみながら現在の困りごとや辛さ、孤独と付き合い、安全を保つ能力にかかわる情報を得ることができる。	●対象者と対象者をとりまく人々から、発達課題、疾患、治療に対する思い、生活上の不自由さ、それらに対する希望について情報を得ることができる。	●対象者や対象者をとりまく人々から希望をひき出し、多職種が有する情報も含め、情報を得ることができる。	●対象者と対象者をとりまく人々の生活について、多角的に情報を得て、整理し、表面化していない真のニーズに関する情報を意図的に得ることができる。
	B2	価値観や信条	●対象者の趣味や好きなこと、大切にしているものや習慣、気がかりや関心などの情報を得て、対象者の価値観や信条を知る手がかりを得ることができる。	●日常のかかわりのなかから、生活習慣や家族背景、病状に関する思い、将来の希望や不安に関する情報を得て、対象者の価値観や信条について理解できる。	●意図的なコミュニケーションにより、対象者の価値観、信念、信条、および生き方についての希望を理解できる。	●対象者の感情表出を促すコミュニケーションを実践し、QOLにかかわる思いを理解し、その思いの実現に向けた対応を見出すことができる。	●対象者の社会面や精神面の課題が多様で、複雑な状況においても、多職種と協働し、対象者のQOLが高められるように介入することができる。
	B3	アセスメント	●対象者の現在のセルフケアレベルを把握し、セルフケア不足が生じた要因について考えることができる。	●対象者のセルフケア不足の要因を、病気や治療の経過と併せてアセスメントし、疾病や生活への認識を確認しながら日常生活上の留意点や介入の優先順位を判断できる。	●対象者のセルフケア不足の要因を分析し、本人の現状の受けとめや希望を確認したうえで、個々にあった生活についてアセスメントし、介入方法とタイミングを判断することができる。	●セルフケア不足の要因を多角的に分析し、対象者の苦痛と成長発達との関連をアセスメントし、いくつかの介入方法を見出し、介入のタイミングを判断することができる。	●日常生活を営むうえでのセルフケア不足だけでなく健康的な力も見出したうえで、対象者の真のニーズをアセスメントし、先を予測しながら見通しをもって今必要なケアを判断できる。
	B4	精神面のアセスメント	●対象者の発言、行動、表情などから、精神症状がどの程度生活に影響しているか、なぜそのような言動になっているのかを考えることができる。 ●対象者の普段の様子を把握でき、普段と異なる状態があったとき、それに気づいて報告ができる。	●必要性を意識して継続観察を行い、対象者の精神機能の評価に加えて自我機能もアセスメントすることができる。 ●対象者の精神症状の悪化を身体疾患の要因も含めてアセスメントすることができる。	●対象者とかかわりながら精神状態をアセスメントし、対象者と共に、個別的で希望を支えられるようなケアプランを作成できる。また、それらを対象者・家族に説明できる。	●複雑なニーズに対応するために、現在の精神状態に影響を与えている要因を多角的にアセスメントすることができる。	●対象者の回復に影響を与えている精神的な要因をアセスメントし、対象者の意思決定や責任を負う機会をつくるなどの充実した看護を展開できる。
	B5	フィジカルアセスメント	●対象者のバイタルサインを正確に測定・判断し、その他の観察やデータに基づき、正常・異常を判断し、報告できる。	●自立して基本的なフィジカルアセスメントができる。 ●対象者の観察および検査データなどから、抗精神病薬や精神科治療に伴う身体的な異常も見逃さず、報告ができる。	●抗精神病薬や精神科治療による身体への影響を予測し、的確なフィジカルアセスメントと身体的な看護を行うことができる。	●フィジカルアセスメントにより、身体的な状態をモニターし、状況や優先度をアセスメントし、チームとして適切に対応することができる。	●フィジカルアセスメントにより、対象者の身体状態の悪化を予測し、切迫した状況下において優先度を判断し、リーダーとしてメンバーを指導しながら適切に対応できる。 ●精神的、身体的に重篤な症状があっても、根拠を持って必要な看護ケアを実践できる。
	B6	看護職の自己洞察・自己活用	●自分が対象者に対して個人的な感情を抱いたときに、他者に相談できる。 ●対象者とのかかわりや、他者からの指摘・助言を得て、自己の実践を振り返り、できていることとできていないことがわかる。また、できていないことを課題としてとらえることができる。	●対象者に対する自分の感情反応に気づくことができ、助言を得ながら適切な対処ができる。 ●自ら自己の実践を振り返り、意味づけたり、他者の助けを借りて、課題を明確にし、次の実践に活かせる。また、自己の役割についても意識して振り返り、その結果を自己の行動に取り入れることができる。	●看護の実践として自身の感情を適切に表現することができる。 ●自身の強みや弱みを理解でき、強みを看護に活かすことができる。 ●自己の実践や役割について、他者を活用して、自己の行動や実践の根拠を確認したり、自己の反応について振り返ることができる。また、その結果を自己の行動変容につなげることができる。	●自身のかかわりを自己洞察して、俯瞰的に状況をみる力をつけ看護に活かすことができる。 ●自己の実践の根拠や自己の反応の意味について、自ら他者の意見を求めて振り返ることができる。その結果を言語化して他者と共有しながら、自己の行動変容につなげることができる。	●自己理解のうえで自己への信頼を高め、看護に活かすことができる。 ●日々の実践のなかで起こる自己や他者の反応を敏感に、客観的に捉えて振り返り、意味づけ・言語化できる。また、意味づけられた実践をより適切な看護に発展させ、自らがロールモデルとなり行動できる。
	B7	記録、計画立案	●精神面・身体面に関して得た情報を整理し、記録できる。 ●看護過程の基本をふまえて看護計画の立案ができる。	●看護の経過のなかで把握した情報から、対象者の希望をふまえてアセスメントした内容を記録し、看護計画を立案することができる。	●個別的なニーズにあった目標を対象者と共有し、看護計画を立案することができる。また、情報開示も意識した記録ができる。	●現状だけでなく、先を見越した対象のニーズに対応する看護計画を立案し、対象者と共有したうえで看護チームに周知することができる。また、情報開示を意識した記録の指導ができる。	●対象者のニーズと個別性を踏まえ、精神症状と付き合いながら過ごせるよう対象者と共に看護計画を立案し多職種とも共有できる。また、記録類を監査し指導できる。

到達段階		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
看護実践能力	**項目C 【目標】ケアを行う力**	**対象者の特徴や意向を意識しながら、安全かつ確実に日常的なケアを実施することができる**	**看護計画を意識して必要なケアを実施し、対象者の反応を確認して看護計画の評価および修正ができる。**	**精神状態や治療を理解し、対象者の個別性に合わせたケアができているか確認し、看護計画を評価考察し、修正ができる。**	**対象者の全体像から、提供されているケアを精査し、より質の高いケアを行うロールモデルとして機能できる。**	**複雑な背景や状況においても、対象者にとっての最善のQOLを見据えてケアの質の管理に取り組むことができる。**
	C1 日常生活のケア	●対象者の意向を考慮して、基本的な日常生活援助を安全に実施できる。	●生活拡大を図るために、対象者とともに自立度を確認しながら生活上の課題を把握することができる。 ●試行的介入をしながらケアの方法を探り、根拠に基づいて実施できる。	●個別性のある看護計画にもとづいて、対象者のセルフケア能力を伸ばすことを意識して、対象者の思いや理解度を考慮したケア・指導を実施することができる。 ●評価により効果的だったかかわりを指針として看護を展開できる。	●対象者の生活に関する課題や症状を予測して判断し、対象者の能力に合わせ、適切なケア方法を提案しチームで実施することができる。 ●適切な時期にケアを評価し、援助の意味を考察することができる。 ●他の看護スタッフと意図的にかかわり、看護のロールモデルとなることができる。	●対象者の背景にある複数の問題を多角的に捉え、課題の改善や解決に向けた最適な看護を提供できる。 ●多職種の役割に応じた介入、コーディネートができる。
	C2 精神面のケア	●思考、知覚の障害、意欲低下、不安、希死念慮、怒り、攻撃、暴力、多訴、対人操作、不眠など、精神症状を正しく理解し、対応できる。	●精神症状の要因、患者の言動を精神疾患、自我機能、生活・環境的要因から理解し対応することができる。 ●ケア実施後の対象者の反応から症状の査定とケアの評価を行うことができる。	●対象者の不調や危機的な状況について、その出来事と、そのときの精神症状を整理し、対象者が可能な対応について対象者とともに見出すことができる。	●対象者が自ら精神症状をマネジメントしながら、自分らしい生活にむけて、自分の力や課題、自分の置かれている環境を意識して行動できるようかかわることができる。	●対象者がその人らしい生活を送れるように、また対象者が自分の精神症状や能力を自覚して生活を送れるように、対象者のパートナーとしてかかわることができる。
	C3 心身両面からのケア	●身体疾患に関する既往歴、現病歴、治療（服薬内容や医療的処置）を理解し、必要な診療の補助ができる。	●精神疾患と身体疾患の関連、病気の経過や治療による影響を考え、病歴や対象者の訴えのみに惑わされず、その他の病因も考慮してアセスメントし、対象者の状況をみながらケアすることができる。	●対象者の自覚症状や病気の捉え方について精神・身体の両側面からアセスメントし、療養上の課題を明らかにしてケアにつなげることができる。 ●身体ケアの重要性を理解し、精神面へのアプローチとしての身体ケアも実践することができる。	●身体疾患の状況をアセスメントし、対象の理解度や対処能力も考慮したうえで、対象者とともに課題を明確にしてケアすることができる。 ●心身相関により今後起こりえることを予測して、現状で必要な対応を提案、実施できる。	●身体疾患に関して、対象者をとりまく人々や多職種の協力を得て、身体疾患による精神面への影響を含めアセスメントし、対象者とともに行動計画を立案し、対象者が実施できるように側面的な支援ができる。
	C4 薬物療法にかかわるケア	●定時薬について、作用と副作用を意識して観察・対応できる。 ●頓服薬使用時に対象者の状態像を観察し、報告できる。 ●頓服薬使用後の効果と副作用の有無を観察し、報告できる。	●対象者に処方されている薬が何を目的として処方されているのかを理解し、その目的に合わせて対象者の変化を観察、記録、報告することができる。 ●頓服薬の作用と副作用を理解したうえで、対象者が正しく内服できるよう対応できる	●定時薬の作用、副作用を意識してモニターし、対象者の生活に合わせた薬物療法の援助ができる。 ●対象者が希望する頓服薬の使用の妥当性を判断し、対象者の個別性に合わせた説明や使用ができる。	●対象者や対象者をとりまく人々の薬に対する思いを確認しながら、対象者が適切に薬物療法を受けられるよう助言や教育ができる。	●対象者の服薬行動に関して服薬を阻害する要因を明らかにし、必要な薬物療法を対象者が納得して継続できるようチームで支援することができる。
	C5 治療プログラムとケア	●グループ療法、服薬心理教育、作業療法、デイケア、訪問看護、断酒会等に参加し、それぞれの特徴や意味について理解できる。	●対象者にとって治療プログラムがどのような意味を持つのか考えながら、一緒に参加することができる。	●対象者の治療プログラム参加状況から、生活機能や障害の程度を確認し、個々の生活を考慮したケアにつなげることができる。	●対象者が治療プログラムの意味を理解し、主体的に参加できるようにかかわることができる。	●治療プログラムを通して機能回復を支援し、回復段階に合った社会参加に向け、対象者および地域社会に働きかけることができる。
	C6 緊急性の高い状況に対応する力	●対象者や他者の安全が保てない状況や緊急性のある状態を発見した場合、ただちにリーダーに報告し、指示にしたがって行動できる。	●緊急性のある状態を発見した場合、何が起きているか判断して応援を呼び、自立して対応できる。	●緊急性のある事態が起こった際に、メンバーを指導しながら対応できる。	●緊急性のある事態が予測された際に、未然にそれを防げるよう対応する。また、緊急事態には、メンバーを指導しながら対応できる。	●不測の事態にもメンバーを指導しながら対応でき、客観的に状況を把握して、多職種チームの采配ができる。
	C7 行動制限のケア	●精神保健福祉法を理解し、行動制限のマニュアル等を活用しながら、対象者の尊厳を損なわずに、安全な看護を実践できる。	●対象者の行動制限において責任をもって安全な看護ができる。また、行動制限を最小限にするための、よりよい看護についても意図的に実施できる。	●対象者の行動制限の目的と方法が適切であるか、対象者の保護と治療の視点から考え、必要な情報提供および対応の提案ができる。	●行動制限や処遇の適切性を、法や倫理などの視点で査定できる。 ●行動制限や処遇について、対象者を擁護する視点に立って多職種とディスカッションをしながら変更の提案ができる。	●行動制限最小化に向けてチームの考えを統合し方向性を見据えて、対象者をとりまく人々と連携し、調整や交渉により、現状を打開できる。
	C8 家族看護	●対象者の家族構成や形態、家族員の健康状態や対象者との関係について把握できる。	●対象者の家族内での役割や家族内の勢力関係、コミュニケーションの特徴等を把握し、どのような葛藤を抱えているのかをアセスメントできる。	●対象者や家族と意図的に一緒に過ごしながら、家族関係のパターンや交流の仕方を把握し、各々の思いを率直に表出できるようかかわることができる。	●複雑な状況下にある家族をアセスメントすることができる。また、家族個々の健康レベルの維持・向上や家族関係の改善に向けた目標をたて、根気強く介入することができる。	●多職種と協働しながら対象者を含めた家族の機能をアセスメントし、望ましい方向性をともに考え、家族のレジリエンス機能を強化できるようにかかわることができる。
	C9 説明責任を果たす	●行おうとするケアについて、対象者が理解できるように説明する必要性を理解できる。	●行うケアや行われている治療について、対象者が理解できるよう、自分の言葉で説明することができる。	●対象者や家族の思いを受け止めながら、相手に合わせた理解しやすい方法で必要な情報を提供することができる。	●対象者らの希望に添えないときでも誠実に対応し、必要な情報の開示と説明を行い、対象者の理解を確認しながら対応できる。	●対象者らが説明内容を理解・納得したうえで内容に合意または拒否する自主性を尊重して対応できる。
	項目D 【目標】協働していく力	**対象者にどの職種がかかわっているかを知り、それぞれの職種の役割を理解し、看護職の役割を考えることができる。**	**対象者に必要な職種を特定し、必要な情報を共有する際に、看護職としての意見を述べることができる。**	**対象者を中心に、家族や多職種とタイミングよく連携することができる。**	**多職種で目標を共有し、役割分担をして協働できるよう主体的にかかわることができる。**	**複雑なニーズや社会の動向に対応し、多職種連携がスムーズに行えるよう、自律的に判断し、調整できる。**
	D1 チーム医療の推進	●看護職の役割を理解し、看護職が得るべき情報とは何かを考え、対象者から情報を得ることができる。 ●多職種とのコミュニケーションを通して、対象者にかかわる職種の役割を知り、看護職の役割を考えることができる。	●看護職として連携に必要な情報を明確にし、対象者から得た情報を発信することができる。 ●多職種が得た情報を自主的に収集し、関係者らとコミュニケーションを図ることができる。 ●多職種の多様な価値観や役割を理解し、各々の方針を確認することができる。	●対象者や対象者をとりまく人々から、看護職が得た個別的な情報を多職種に提供することができる。 ●どのような職種と連携を図ればよいかを判断し、必要なタイミングを見極めて、対象者を中心にして多職種で話し合う機会を作り、自ら参加して発言することができる。	●対象者やその周囲の状況を広い視野でとらえ、今後起こりえる結果を予測しながら、多職種連携の必要性を判断し、主体的に連携できる。 ●対象者固有の思いや希望を対象者自らが語れるようサポートし、多職種と共有することができる。 ●円滑にサポート体制が整うようにロールモデルとなって調整できる。	●複雑な病状や状況においても対象者の思いを捉えて、QOLを意識したサポート体制を多職種とともにつくり上げることができる。 ●多職種連携がスムーズに行われるよう、自律的な判断のもと、積極的に、調整役を担うことができる。 ●精神科医療に関する情報を得て、現場の課題と照らし合わせて、多職種と話し合い、より良い医療提供体制の構築に取り組むことができる。
	項目E 【目標】意思決定を支援する力	**対象者や対象者をとりまく人々の意向を把握することができる。**	**対象者や対象者をとりまく人々の意向を、看護に反映させることができる。**	**対象者や対象者をとりまく人々の意思決定に必要な情報を提供したり、話し合うための場の設定、意思表出をサポートすることができる。**	**対象者や対象者をとりまく人々の意思形成を助け、意思決定に伴って生じる揺らぎを共有しながら、対象者の意思を尊重した対応ができる。**	**複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる。**
	E1 意思決定	●対象者や対象者をとりまく人々の思いや考え、希望を知ることができる。 ●対象者自身の言葉で語ってもらうことの意味に気づき、思いをきけるように工夫してかかわることができる。 ●対象者や家族の思いや考え、希望を、看護チームで共有することができる。	●意図的に、対象者や対象者をとりまく人々の思いや考え、希望を確認し、その背景や理由についてもきくことができる。 ●対象者や対象者をとりまく人々の思いや考え、希望が実現できるように看護計画を立ててケアに取り入れることができる。 ●対象者や家族の認識と医療者の認識のずれに気づき、ずれを修正していけるよう、話し合う機会を設けることができる。	●対象者と対象者をとりまく人々が大切にしていることを理解し、両者の意向が異なる場合でも、それぞれの思いや価値観に寄り添って、その人らしい決定を下し、それを表出できるようにかかわることができる。 ●対象者にかかわる複数の職種の意見や考えをきく機会を提供できる。	●対象者や対象者をとりまく人々が意思決定しやすいように、訴えの真意を汲み取る姿勢をもち、意思が二転三転したとしても、対象者の意思をつくり上げていくためのかかわりを続けることができる。 ●対象者の今の気持ちを引き出しながら、意思を決定し、それを率直に表出できるよう、チームで支援することができる。 ●対象者の意思を尊重し、多職種を巻き込んで、納得のいく結論が出せるようかかわることができる。	●対象者の背景にある揺れ動く気持ちや不安を理解して、その人らしい意思決定ができ、QOLを高めるかかわりができる。 ●対象者が意思決定できるように適切な資源を積極的に活用して多職種チームで支援することができる。 ●対象者と周囲の意見が対立するような場合においても、多職種チームで対象者にかかわり続け、前向きに建設的に意思決定ができるよう調整することができる。

到達段階			レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
自己教育・研究能力	項目F 【目標】看護力を獲得・維持・開発する力		教わる者としての姿勢や態度を考え、積極的に学ぶことができる。	経験をふまえた指導的役割を通して自らも学ぶことができる。	広い視野で必要な知識、より専門的な知識の獲得・追究に向けた行動ができ、メンバーに対して教育的なかかわりができる。	自己研鑽でき、教育・研究活動にも自ら取り組むことができる。教育活動について、指導的な役割を実践することができる。	精神科領域にかかわる高度な看護について自己の教育活動を展開ができる。組織的研究活動を実践できる。
	F1	教育・指導	●他者に相談しながら、所属している部署に特徴的な知識や技術を主体的に学習できる。	●疾患や治療の理解を深め、看護に活かせるよう主体的に学習できる。	●実践で感じたさまざまな疑問を放置せず、それを解消するための学習ができる。 ●看護実践におけるモデルとなり、新人やメンバーへの日々の指導、および看護学生の実習指導ができる。	●所属部署の教育を担当し、学習内容の検討、学習機会の企画・実施をおこなうことができる。 ●長期的視野に立ってメンバーの教育・指導ができる。	●組織の看護教育計画にそった、人材育成ができる。
	F2	自己啓発	●自己の実践に必要な事柄について学習方法が理解でき、自ら進んで学習できる。	●明らかになった自己の課題の解決を意識して、その解決に向けて積極的に学習を進めることができる。	●これまでの実践や現在の役割から、必要な知識やスキルを自ら見出し、学習計画を立てて取り組むことができる。	●これまでの実践や現在の役割をふまえた課題を明確にし、意欲的かつ継続的に学習を進めることができる。	●これまでの実践や現在の役割に必要な知識や技術を高めるために、新しい知見を得たり、積極的に外部と交流できる。
	F3	研究	●自己の看護実践の疑問や問題意識をもち、振り返ることができる。	●指導を受けながら、看護研究に参加することができる。	●部署における看護研究に取り組むことができ、組織で発表できる。	●自己の疑問から看護研究に取り組むことができ、組織内外で発表ができる。	●メンバーの看護研究をサポートし、自らも積極的に看護研究発表ができる。
組織的役割遂行能力	項目G 【目標】業務を管理する力		組織のメンバーとして日々の業務を遂行できる。	所属する部署の自己の役割を理解し、自ら考えて行動することができる。	所属する部署・組織におけるリーダー的存在として、創造力を要求される役割を遂行できる。	所属する部署・組織で看護の質にかかわる管理責任の一部を担い、専門的な能力を必要とする指導的な役割を遂行することができる。	所属する部署・組織の看護の質にかかわる責任を担う者としての役割を遂行することができる。
	G1	役割認識	●組織の一員であることを理解し、自分の行動を決めることができる。	●所属する部署でその日の自己の役割を遂行できる。	●所属する部署の自己の役割を理解し、メンバーに影響を与えながら看護の質や効率を考えて行動することができる。	●所属する部署のみでなく、看護の組織全体における自己の役割を理解し、創造的に行動することができる。	●組織における自己の役割を理解し、自ら考えて発展的に行動することができる。
	G2	物品管理	●物品を安全に、正確に使用することができる。	●物品を安全に、正確に取り扱うことができ、故障や不具合があった際に対処できる。	●安全で正しい物品管理と補充に関して、メンバーへの指導ができる。	●部署内の物品を、安全性、効率性、適切性を考えて管理できる。	●経営的視点と、対象者へのよりよい看護の提供を考えた物品管理ができる。
	G3	情報管理	●守秘義務や個人情報保護に関する規則を理解し、守ることができる。	●守秘義務や個人情報保護を意識して、正しく情報を扱うことができる。	●守秘義務や個人情報保護のリスクを考え、事故防止にむけた行動ができる。	●守秘義務や個人情報保護に関する規則、情報管理に関し、メンバーを指導することができる。	●情報管理を理解し、そのリスクをふまえながら組織として安全かつ効率的・効果的に情報を扱うことができる。
	G4	時間管理	●基本的な時間管理ができ、看護の優先順位を意識した行動ができる。	●看護の優先順位と効率を考えて、行動することができる。	●チームで協力して円滑に看護が進められるように支援することができる。	●看護の質を維持しながら生産性と効率性を考え業務改善に取り組むことができる。	●看護の質および部署の状況を判断し、柔軟に業務改善を推進することができる。
	G5	医療安全管理	●対象者の症状および治療による影響を考慮し、他者に相談しながら事故が起こらないよう意識して対応できる。 ●インシデント・アクシデントを確実に報告でき、自分なりに原因を分析できる。	●リーダーとしてルールを優先するだけでなく、対象者の個別性にあった安全な環境調整ができる。 ●報告したインシデント・アクシデントの結果から、改善策を考え、チームと共有できる。	●ヒューマンエラーの認識をもち、日常の看護のなかで注意深く対象者や環境を観察し、リスクが最小限になるように対応できる。 ●看護チームで起きたインシデント・アクシデントの再発防止策をカンファレンスで話し合い、メンバーと共有し実践することができる。	●対象者の症状や行動の変化から看護職として注意すべきことを考え、チームで安全に配慮した対応にあたることができるようリーダーシップを発揮できる。 ●インシデント・アクシデントが起きる前から危険を予測し、改善案を提案してチームで行動できる。	●チーム全体で安全な看護ができるようにチームのバランスを調整することができる。 ●日常のさまざまな場で事故を未然に防げるようスタッフへ教育的にかかわることができる。 ●リスクマネジメントの推進者として、組織全体の安全管理について考え、より安全で事故を起こさない仕組みづくりに貢献できる。
	G6	感染管理	●標準予防策を理解し実施できる。	●標準予防策を理解し、根拠ある行動をとることができる。	●感染管理の視点で対象者の環境を整えられるよう、スタッフに対して指導できる。	●感染管理に関して、スタッフだけでなく、対象者が自身で感染予防策を実施できるようかかわることができる。	●組織内で問題となる感染を把握し、衛生的な環境を維持できるよう、組織的に対策を講じることができる。また感染発生時にも拡大を防ぐための感染対策を実施できる。

継続学習にかかわる研修会

※【再】は2022年度と同じ内容　※「東京」＝東京研修会場（集合研修）、「兵庫」＝一般財団法人仁明会精神衛生研究所（集合研修）

分類	NO.	研修会名	ねらい	ラダー 適応	ラダー I	ラダー II	ラダー III	ラダー IV	ラダー V	開催方法・日程(2023年4月～2024年3月) オンデマンド研修(時間数)：配信期間 集合研修(定員)：開催日		会員受講料 税別価格(税込価格)	非会員受講料 税別価格(税込価格)
歴史・法律	1	精神科医療の歴史	精神科医療の歴史と諸外国の精神医療改革を参考に、現在の精神保健医療福祉に求められていることを考える	A	●	●				オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
	2	精神保健福祉法の基礎知識	患者の人権を尊重し、安全で安心できる精神科医療・看護が提供できるよう、精神保健福祉法を正しく理解する	A	●	●				オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
	3	守秘義務と個人情報保護法	医療専門職に守秘義務が設けられている理由、守秘しなければならない患者情報とは、守秘義務を厳守するためにはどのような場面に気をつけたらよいか、守秘義務を守らなかった場合の処分など、守秘義務と個人情報保護法について学び、安心で安全な医療・看護の提供につなげる	G	●	●	●	●	●	オンデマンド【再】(60分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,000円(1,100円)	2,000円(2,200円)
倫理	4	精神科看護職に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	倫理の基礎知識と精神科医療で起こりやすい倫理的課題を理解し、日々の実践のなかで倫理的感性を養い、個人を尊重した看護の実践につなげる	A	●					オンデマンド【再】(120分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
	5	精神科看護職の倫理綱領解説①	精神科看護職の倫理綱領の倫理指針1～7について理解を深める。「精神科看護職の倫理綱領とモヤモヤMEMO」の使い方を知り活用できる	A	●	●	●			オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
				C	●	●	●	●	●				
				E	●	●	●	●	●				
	6	精神科看護職の倫理綱領解説②	精神科看護職の倫理綱領の倫理指針8～12について理解を深める。「精神科看護職の倫理綱領とモヤモヤMEMO」の使い方を知り活用できる	A	●	●	●			オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
				E	●	●	●	●	●				
	7	意思決定支援	精神障がい者の意思決定の過程とその支援方法を学ぶ	E	●	●	●			オンデマンド【再】(180分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	3,000円(3,300円)	6,000円(6,600円)
	8	倫理観を高めるための視点	職場環境や職業の特殊性を理解し、ルーチン化した業務に倫理的課題が埋もれていることを認識して看護の実践ができる	A				●	●	オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
	9	アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の理解と実践	重度認知症、高次脳機能障害、発達障害をもつ人の意思形成を支援し、対象者の望む医療・ケアが受けられるよう、ACPについて学び、実践に活かす	E				●	●	東京(80名)	12/11（月）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
	10	精神科における倫理観を高める組織づくり	組織全体の倫理観を高めるために必要となる管理者としての考え方や倫理委員会の活用方法を考え、組織文化の醸成につなげる	A				●	●	オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
	11	語りながら考える「倫理研修」～倫理研修の企画実施に困っている人のための研修会～	受講生がそれぞれが抱く倫理研修に関する疑問や悩みなどを共有し、それぞれの所属施設でどのような倫理研修が最善かを考える。所属施設で倫理教育ができることをめざす	A				●	●	東京(80名)	11/18（土）～11/19（日）12/16（土）(3日間)	18,000円(19,800円)	36,000円(39,600円)
	12	倫理カンファレンスの実践	倫理カンファレンスの方法とファシリテーターの役割を理解し、看護実践の場で倫理カンファレンスを継続的に実施できる ※2022年度「精神科看護実践の場に根づく倫理カンファレンスの実践」と同じ内容	A				●	●	東京(80名)	9/2（土）～9/3（日）(2日間)	12,000円(13,200円)	24,000円(26,400円)
対人関係・コミュニケーション	13	精神科看護に必要なコミュニケーションスキルの知識	精神科看護におけるコミュニケーションスキルに関する知識を学び、患者－看護職関係の構築につなげる ※2022年度「精神科看護に必要なコミュニケーションスキル」と同じ内容	A	●					オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
				B	●								
	14	コミュニケーション技術を高める	受容・傾聴・共感など、コミュニケーションの基礎知識を学び、演習をとおして、自身のコミュニケーションを客観的に振り返り、対象者とのかかわり方を考える ※2022年度「コミュニケーションの基本」と同じ内容	A	●					東京(80名)	8/1（火）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
	15	プロセスレコードの基本	プロセスレコードの基本を学ぶ。プロセスレコードを用いて気がかりな場面で自らのコミュニケーションを振り返り、精神科看護への自己活用を考える	A	●	●	●			オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
				B	●	●	●	●					
	16	実践に活かすプロセスレコード	プロセスレコードを用いて患者－看護職の相互関係について考え、スタッフ教育や学生指導に活かす ※2022年度「プロセスレコードの活用方法」と同じ内容	A				●	●	東京(80名)	9/1（金）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
	17	気がかりを見つめ直しケアにつなげる異和感の対自化	日頃の看護のなかで気がかりになっていることからケアを見つめ直す。対人関係における異和感から、援助関係のずれに気づくことができる・異和感の対自化の実際・事例の4局面・援助技法の学習方法としてのプロセスレコード・再構成法を学ぶ	A		●	●	●	●	東京(80名)	9/9（土）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
				B		●	●	●	●				
	18	対人関係における自己活用	対人関係の基礎を学び、精神科看護において自己活用ができる (看護におけるリフレクション、関係のプロセス、転移、逆転移、直面化、抵抗、自己分析、自己理解、交流分析) ※2022年度「対人関係の基礎」と同じ内容	B		●	●	●		東京(80名)	10/22（日）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
	19	自己表現が楽になるアサーション入門	アサーションの定義や方法をふまえ、自分も相手も大切にする自己表現、アサーションスキルを習得する	A		●	●	●	●	東京(80名)	8/2（水）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
				B		●	●	●	●				
				D		●	●	●	●				
	20	援助者が自身の感情をマネジメントする方法(アンガーマネジメント)	怒りの仕組み・イライラや怒りの感情と上手に付き合うためのテクニックを学ぶ	A		●	●	●		東京(80名)	12/10（水）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
				B		●	●	●					
	21	トラウマ・インフォームドケアの基本と実践	トラウマ・インフォームドケアの基本的な考え方を学び、日々のケアに活かす	A			●			東京(80名)	8/26（土）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
	22	ナラティブ・アプローチの活用	対象者の語りに耳を傾け、その語りから対象理解を深める方法を学ぶ	A			●	●		東京(80名)	8/25（金）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
				B			●	●					

分類	NO.	研修会名	ねらい	ラダー 適応	ラダー I	ラダー II	ラダー III	ラダー IV	ラダー V	開催方法・日程(2023年4月～2024年3月) オンデマンド研修(時間数)：配信期間 集合研修(定員)：開催日		会員受講料 税別価格(税込価格)	非会員受講料 税別価格(税込価格)
対人関係・コミュニケーション	23	対話で患者を支えるオープンダイアローグ	フィンランドで実践されている統合失調症患者を対象とした治療的介入方法であるオープンダイアローグの特徴、理論的背景、手法を学ぶ	A				●	●	東京(80名)	8/27（日）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
	24	看護に役立つビジネスコミュニケーション	自分の考えや伝えたいことを論理的に表現する力を身につけ、日々の業務連絡や多職種連携に活かす	D				●	●	オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
	25	コーチングの基礎と活用方法	対象者の自律をサポートする方法として、コーチングの基本的な考え方を理解し、対象者が自らの持つ力を発揮し、目標に向かって自発的に行動できるよう、対話による気づきや学習、行動を促進する ※2022年度「コーチングの基礎と活用」と同じ内容	A				●	●	東京(80名)	7/31（月）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
看護過程・理論	26	ケア対象者のニーズの把握	ケア対象者の本質的ニーズをとらえるために、ニーズとは何かを理解する	B	●					オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
	27	観察と記録	対象理解やニーズの把握につなげるための観察の力を養うとともに、記録の意味、記録の形式について学び、必要な記録を残すことができる	B	●	●	●	●	●	オンデマンド【再】(120分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
	28	メンタル・ステータス・イグザミネーションを学ぶ	診断基準の理解、精神症状とアセスメント・症状の観察とアセスメントのための面接方法を学ぶ	B	●	●				東京(80名)	9/23（土）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
				C	●	●							
	29	ストレングスモデルを活用した精神科の看護過程	ストレングスモデルの概要を理解し、ストレングスモデルを用いた看護過程の展開ができる	B	●	●	●	●	●	オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
				C	●	●	●	●	●				
	30	セルフケア理論とその活用	セルフケア理論の概要を理解し、セルフケア理論を用いた対象理解・患者個々の力を取り戻す看護を考える	B	●	●	●	●	●	オンデマンド【再】(180分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	3,000円(3,300円)	6,000円(6,600円)
	31	看護過程の基本	看護過程の基本を学ぶ(看護過程とは何か、看護過程が必要な理由、看護過程のプロセスなど)。また、教育担当者として看護過程の基本を振り返り、指導に活かすことができる	B	●	●	●	●	●	オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
	32	精神科における看護過程の展開	精神疾患をもつ人を理解し、看護介入の必要性の判断と、実施、評価のポイントを学び看護過程の基本を理解する	B	●	●	●	●	●	オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
	33	精神発達論を対象理解に活かす	精神発達論をとおして、対象者の生育歴情報などを収集する目的やアセスメントのポイントを学び、対象理解に活かす	B		●	●	●	●	オンデマンド【再】(120分)	10/10（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
	34	精神力動論を対象理解に活かす	対象者のこころの動きや行動の意味について精神力動論を活用して理解を深める	B		●	●	●	●	東京(80名)	8/20（日）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
				C		●	●	●	●				
疾患の理解とケア	35	精神機能の分類と障害	精神機能を正しく理解し、的確な情報収集と記録、アセスメント、ケアにつなげる	C	●	●				オンデマンド【再】(90分)	10/10（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
	36	脳の構造・機能の理解とケア	脳の構造・機能をふまえて統合失調症や認知症の精神症状をアセスメントし、根拠に基づいたケアの提供につなげる	B	●	●				兵庫(35名)	9/9（土）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
				C	●	●				東京(80名)	12/9（土）(1日間)		
	37	統合失調症の理解とケア	統合失調症の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				オンデマンド【再】(120分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
				C	●	●				兵庫(35名)	6/16（金）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
	38	気分障害の理解とケア	気分障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				オンデマンド【再】(120分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
				C	●	●				兵庫(35名)	8/4（金）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
	39	発達障害の理解とケア	発達障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				オンデマンド【再】(120分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
				C	●	●							
	40	パーソナリティ障害の理解とケア	パーソナリティ障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				オンデマンド【再】(120分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
				C	●	●				兵庫(35名)	10/13（金）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
	41	摂食障害の理解とケア	摂食障害の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				オンデマンド【再】(120分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
				C	●	●							
	42	児童・思春期・青年期の精神科看護	児童・思春期・青年期の特徴をふまえたうえで、問題となる行動や障害について理解し、成長を促進するために看護の役割や具体的なケアについて学ぶ	B	●	●				兵庫(35名)	9/29（金）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
				C	●	●							
	43	認知症疾患の理解とカンフォータブルケア	認知症の病態、診断、治療を学び、原因疾患の特徴に基づいた適切なケア提供につなげる	B	●	●				オンデマンド【再】(120分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
				C	●	●							
	44	アディクションの理解とケア	アディクションの病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				オンデマンド【再】(120分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
				C	●	●							
	45	多飲水・水中毒の理解とケア	多飲水、水中毒の病態、診断、治療の基礎を学び、病態理解に基づいた看護ができる	B	●	●				オンデマンド【再】(120分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
				C	●	●							
	46	糖尿病の理解とケア	糖尿病の病態生理と看護を理解し、糖尿病患者の生活を支援する	C	●	●	●	●	●	オンデマンド【再】(120分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	2,000円(2,200円)	4,000円(4,400円)
精神科治療・専門療法	47	向精神薬の基礎知識	向精神薬の基礎知識を学び、薬物療法を受ける患者の支援ができる	B	●	●				オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
				C	●	●							
	48	精神科薬物療法の有効性と限界を学ぶ	精神科薬物療法の基本、精神科薬物療法の有効性と限界を理解し、看護実践につなげる	C	●	●	●			兵庫(35名)	8/25（金）(1日間)	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
	49	精神科薬物療法を受ける患者の看護	患者の生活に合わせた薬物療法の支援を行うためのケアの視点やケアの工夫を学ぶ	B	●	●				オンデマンド【再】(90分)	5/16（火）～2024/3/8（金）	1,500円(1,650円)	3,000円(3,300円)
				C	●	●	●	●	●				

分類	NO.	研修会名	ねらい	ラダー						開催方法・日程(2023年4月～2024年3月) オンデマンド研修(時間数):配信期間 集合研修(定員):開催日		会員受講料 税別価格 (税込価格)	非会員受講料 税別価格 (税込価格)
				項目	I	II	III	IV	V				
精神科治療・専門療法	50	精神療法の基本	精神療法の基本を理解し、チーム医療、看護ケアにつなげる	C	●	●	●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	51	作業療法の基本	作業療法の基本を理解し、チーム医療、看護ケアにつなげる	C	●	●	●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	52	看護技術としての グループアプローチ	グループの特性やグループアプローチの基本を学び、看護技術として効果的に集団に働きかけることができる	C	●	●	●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	53	心理教育の基本と活用	疾病・服薬心理教育を活用し、対象者の生活支援につなげる	C	●	●	●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	54	アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP)	ARPの目的と実践、看護の役割を理解し、看護ケアにつなげる	C	●	●	●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	55	社会生活スキルトレーニング(SST)の基本的知識と看護への活用	SSTの基本的な考え方と実践を学び、対象者の生活支援につなげる	C		●	●	●	●	東京 (80名)	12/6(水) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
	56	認知行動療法(CBT)の実際 ～認知行動療法を日常臨床でどのように活かすか～	短時間で行う「効率型認知行動療法」の考え方を学び、日常臨床に活かすことができる	B			●	●		兵庫(35名)	12/15(金)(1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
				C			●	●	●	東京(80名)	9/7(木)(1日間)		
身体ケア・日常生活援助	57	摂食・嚥下にかかわるケア	摂食・嚥下のメカニズムを理解し、摂食・嚥下障害のある患者のケアを学ぶ※2022年度「食事にかかわるケア」と同じ内容	C	●	●	●	●	●	東京 (80名)	10/15(日) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
	58	排泄ケアと スキントラブルの予防	排便コントロールや排尿ケアなど、排泄の基本を学ぶ。褥瘡・スキンテア(皮膚裂傷)の予防とケア、失禁によるスキントラブルの予防とケア、フットケア(爪切り)について実践を通して学ぶ※2022年度「排泄にかかわるケア」と同じ内容	C	●	●	●	●	●	東京 (80名)	10/14(土) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
	59	ボディメカニクスと ポジショニング	患者と看護職の身体を守るボディメカニクスと対象者の安楽な姿勢を保持するポジショニング技術や誤嚥性肺炎の予防のためのポジショニングを学ぶ※2022年度「ケア対象者と看護職の姿勢保持にかかわるケア」と同じ内容	C	●	●	●	●	●	東京 (80名)	10/16(月) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
	60	精神科で役立つフィジカルアセスメント・フィジカルイグザミネーション	フィジカルアセスメント、フィジカルイグザミネーションの基本を学び、身体症状の観察とケアの実践につなげる	B	●	●	●	●	●	東京 (80名)	10/28(土) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
				C	●	●	●	●	●				
	61	精神科における身体合併症の看護	身体と精神のつながり、精神科で起こりやすい身体合併症を理解し、精神疾患と身体疾患をあわせもつ対象者の看護実践につなげる	B			●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
				C			●	●	●				
救急・急性期看護	62	急変時の情報伝達に役立つSBAR	SBAR(状況・背景・評価・提案)の概要、身体面の急変時における、医師、リーダーへの的確な報告、医療安全などSBARが活用できる	C	●	●	●			オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	63	包括的暴力防止プログラム(CVPPP)トレーナー養成研修会	CVPPPの目的、医療における暴力、暴力と攻撃性などを学び、演習をとおして実技を習得する	C	●	●	●	●	●	東京 (30名)	9/15(金)～ 9/18(月) (4日間)	40,000円 (44,000円)	80,000円 (88,000円)
	64	ストレスマネジメント	ストレスの定義、ストレスのメカニズム、ストレスによる心身への影響、ストレスマネジメントの方法を学ぶ	C	●	●	●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	65	クライシス・インターベンション	危機を理解し、対象者の状況に合わせた危機介入につなげる	C			●			オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
行動制限最小化看護	66	行動制限最小化看護の 基礎知識	行動制限に関する歴史的背景や法律、看護倫理など、行動制限に関する基本的知識を学び、行動制限最小化看護の実現につなげる	C	●	●				オンデマンド 【再】(180分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	3,000円 (3,300円)	6,000円 (6,600円)
	67	行動制限最小化に向けた 看護の実際	行動制限に関して倫理的視点を含めたアセスメントと行動制限最小化に向けた看護介入を学ぶ	C			●	●		オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	68	身体的拘束に伴う法的根拠／ 身体的拘束に頼らない精神科看護	身体的拘束に伴う法的根拠を再確認し、現場での矛盾や倫理的課題を明らかにし、身体的拘束に頼らないケアを考える	C			●	●	●	兵庫(35名)	10/2(月) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
	69	病院組織で取り組む 行動制限最小化	行動制限最小化看護の実践に向けた看護管理者の役割を考え、組織全体で取り組むことを学ぶ	C				●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
地域包括ケアシステム	70	精神科におけるリハビリテーションとリカバリーの基礎知識	精神障がい者の地域生活や社会参加を支えるために有効な考え方や視点を学び、精神障がい者の回復支援を考える	B	●	●	●			オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
				C	●	●	●	●	●				
	71	地域生活を支える 社会資源の活用と連携	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの概念を理解し、退院支援に必要なアセスメント、地域生活を支える社会資源、看看連携、多職種、他機関との連携を学ぶ	D	●	●	●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	72	精神障がい者が安心して 地域で暮らすために必要な視点	訪問看護と病院の看護の視点の違いを知り、入院中に必要な看護や地域につなげるための看護の視点を養う	C			●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	73	回復過程にあわせた リハビリテーション	精神疾患の回復過程に合わせたリハビリテーションのポイントを学ぶ	C			●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	74	WRAPの基礎知識と体験	WRAPの考え方、実際の活用の方法について体験を通して学ぶ ※2022年度「WRAP体験クラス」と同じ内容	C			●	●	●	東京 (80名)	9/29(金) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
	75	精神科看護職による地域づくり	ソーシャル・キャピタルの視点を活かし、精神障害がある人もない人も安心して暮らすことができる地域づくりと看護職の役割を考える	C				●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
訪問看護	76	GAF評価のポイントと アセスメント	GAF尺度の概要と評価のポイントを理解し実践に活用する ※2020年度以前に精神科訪問看護基本療養の算定要件研修を受講されている方で、地域の厚生局からGAFに関する研修会の受講を求められている方にもご活用いただけます	B	●	●	●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	77	精神科訪問看護 対応力向上研修会	精神科訪問看護に必要な知識を再確認し、利用者主体の援助方法について学ぶ※オンデマンドとライブ配信の両方の受講が必要です	C			●	●	●	オンデマンド (90分×5=450分) ライブ配信 (120分)※予定	5/16(火)～ 2024/3/8(金) 11/3(金)	9,500円 (10,450円)	19,000円 (20,900円)

分類	NO.	研修会名	ねらい	ラダー						開催方法・日程(2023年4月～2024年3月) オンデマンド研修(時間数):配信期間 集合研修(定員):開催日		会員受講料 税別価格 (税込価格)	非会員受講料 税別価格 (税込価格)
				項目	I	II	III	IV	V				
家族支援	78	家族看護の基礎知識	家族システム理論や家族発達理論を学び、家族理解を深める (家族とは、現代家族の特徴、健康障害をもつ家族員を抱えた家族、家族看護を必要としている家族、家族を全体としてとらえ支援する、家族を発達する存在として支援する)	C	●	●	●			オンデマンド 【再】(120分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	2,000円 (2,200円)	4,000円 (4,400円)
	79	家族看護の実践	家族の役割調整・家族関係の調整・強化・家族内コミュニケーションの活性化・家族の対処能力の強化・社会資源の活用など、家族看護の実践について学ぶ	C			●	●	●	東京 (80名)	12/18(月) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
事例検討	80	事例のまとめ方	事例をまとめることの意義を理解し、事例をまとめることによって得られる「気づき」から精神科看護実践力を高める	F		●				オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	81	気づきを活かす事例検討会 6回シリーズ	ケアの迷いや「困った」を立ち止まり、参加者同士で現場の経験を分かち合う。事例検討を初歩から学び、自身の変化を実感しながら日々の看護につなげる ※事例検討の経験の有無は問いません ※部分受講不可、研修時間は毎回2時間(PM)です。できるだけ連続してご参加ください	B			●	●	●	ハイブリッドライブ配信 (20名) ＋ 東京 (20名)	①7/30(日) ②9/24(日) ③10/29(日) ④11/26(日) ⑤12/24(日) ⑥2024/1/21(日) (6日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
				C			●	●	●				
	82	事例検討会 ファシリテーター養成研修会	事例検討の運営を行うためのファシリテーターの育成、集団精神療法を基本にしたグループ体験と、事例検討会の深化を体験する。また、オープンダイアローグで用いられるリフレクティングプロセスを用いた事例検討を通して、日々のケアで疑問に感じていることを言語化し、今後のケアに活かす ※事例検討参加経験が5回以上あることが望ましい	F			●	●	●	東京 (40名)	2024/2/25(日) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
	83	看護管理における 事例検討会の意義	事例検討会の意義と目的を学び直し、スタッフの観察、実践、分析力を高める新たな看護体験として臨床現場に事例検討を導入する方法を考える	F				●	●	東京 (40名)	12/2(土) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
チーム医療	84	組織における 自身の役割と集団の特性	組織(集団)の特性や自身の役割を認識し、理解することができる	G	●	●				オンデマンド 【再】(120分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	2,000円 (2,200円)	4,000円 (4,400円)
	85	医療チームにおける 看護の役割と実践	医療チームの看護職の役割を明確にし、他職種との連携における看護の専門性を考える	D		●	●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	86	チーム医療の実践	インタープロフェッショナルワーク(IPW)の基本的な考え方を学び、医療チームにおける専門職がそれぞれの力を発揮できるように、質の高いチーム医療の実践につなげる	D		●	●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	87	コプロダクション型 看護計画の実践	医療者と患者が対等なパートナーとして共にかかわるコプロダクション(共同創造)の考え方を学び、質の高いサービスの提供につなげる ※2022年度「共同創造(コプロダクション)の理解と実践」と同じ内容	D		●	●	●	●	東京 (80名)	8/23(水) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
教育・研究	88	看護研究	看護研究の意義を理解し、研究における倫理や研究方法など、基本的な知識を学ぶ	F	●	●	●	●	●	オンデマンド 【再】(180分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	3,000円 (3,300円)	6,000円 (6,600円)
	89	院内研修の立案	スタッフや所属部署の学習ニーズをとらえ、研修会の企画を行う方法を学ぶ	F			●	●	●	東京 (80名)	12/1(金) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
医療安全・感染管理	90	精神科に多い事故と 医療安全対策	精神科医療・看護の実践の場での事故の特徴を理解し、安全な医療・看護の提供につなげる	G	●	●	●			オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	91	医療安全の基本と対処	医療安全に関わる法律や基礎知識を学び、看護職としての責務を果たせるようにするとともに、インシデント・アクシデントの結果から改善策を考える	G	●	●	●			オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	92	感染予防策の基礎	標準予防策、感染経路別予防策、手指衛生、個人防護具、衛生管理など感染対策の基礎について学ぶ	G	●	●	●			オンデマンド 【再】(120分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	2,000円 (2,200円)	4,000円 (4,400円)
	93	感染管理の実践	感染対策に関する基礎知識をふまえて、演習をとおして感染管理が実践できる	G			●	●	●	東京 (80名)	10/2(月) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
	94	医療コンフリクトマネジメント としてのメディエーション	患者・家族と医療者の間の情報共有のあり方と、コンフリクト(葛藤・対立・紛争・闘争)に対処するための方法を学ぶ	G				●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
看護管理	95	チームにおけるリーダーシップ	リーダーシップの理論を学び、看護チームや多職種チームの中の自身の役割を果たすことができる	G			●	●	●	オンデマンド 【再】(90分)	5/16(火)～ 2024/3/8(金)	1,500円 (1,650円)	3,000円 (3,300円)
	96	有効な看護チームをつくる ためのファシリテーション	ファシリテーションに必要となるブロッキングやリフレクティングを理解して、ファシリテーションの留意点を学ぶ	G			●	●	●	兵庫(35名)	8/5(土) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)

※【再】は2022年度と同じ内容　※「東京」＝東京研修会場(集合研修)、「兵庫」＝一般財団法人仁明会精神衛生研究所(集合研修)

精神科看護初心者向け オンデマンドのセット研修

このセット研修はNO.1 ～ NO.96 の研修会（P.12-15）から精神科看護初心者向けのオンデマンド研修を組み合わせたものです。
ご自身のペースで基礎知識を学ぶことができますので、ぜひご活用ください。

＜申込方法＞　研修会システム「manaable（マナブル）」（本冊子の裏表紙参照）でセット名を検索して
お申し込みください。

＜注意事項＞
- ●セット①～⑩のNO.は、P.12-15 に掲載している研修会に対応しています。
- ●セット①～⑩の研修には、同じオンデマンド研修が含まれているものもありますので、NO.をご確認ください。
- ●各研修会のねらいや配信期間をご確認ください。
- ●受講料は研修会の合計金額です。

セット研修名	セットに含まれる研修会 NO.	セットに含まれる研修会 研修会名	時間数	会員受講料 税別価格(税込価格)	非会員受講料 税別価格(税込価格)
セット①【はじめての精神科看護】					
精神科看護がはじめての方に学んでほしい おすすめのセット研修	2	精神保健福祉法の基礎知識	1.5	10,000円 (11,000円)	20,000円 (22,000円)
	4	精神科看護職に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	2		
	27	観察と記録	2		
	64	ストレスマネジメント	1.5		
	66	行動制限最小化看護の基礎知識	3		
セット②【倫理・法律・歴史】					
倫理や歴史、法律を学び、ケアや意思決定を支援する力をつけよう (ラダー項目：A、C、E)	1	精神科医療の歴史	1.5	8,000円 (8,800円)	16,000円 (17,600円)
	2	精神保健福祉法の基礎知識	1.5		
	4	精神科看護職に必要な心構えと態度・倫理の基礎知識	2		
	5	精神科看護職の倫理綱領　解説①	1.5		
	6	精神科看護職の倫理綱領　解説②	1.5		
セット③【情報収集・記録・アセスメント・計画立案】					
情報収集・記録・アセスメント・計画立案を学び、ニーズを把握する力をつけよう (ラダー項目：B、C)	26	ケア対象者のニーズの把握	1.5	11,000円 (12,100円)	22,000円 (24,200円)
	27	観察と記録	2		
	29	ストレングスモデルを活用した精神科の看護過程	1.5		
	30	セルフケア理論とその活用	3		
	31	看護過程の基本	1.5		
	32	精神科における看護過程の展開	1.5		
セット④【行動制限・急変時・ストレスマネジメント・危機介入】					
行動制限や急変時など危機的な状況に、安全かつ確実なケアを実施できる力をつけよう (ラダー項目：C)	62	急変時の情報伝達に役立つSBAR	1.5	7,500円(8,250円)	15,000円(16,500円)
	64	ストレスマネジメント	1.5		
	65	クライシス・インターベンション	1.5		
	66	行動制限最小化看護の基礎知識	3		
セット⑤【意思決定・コミュニケーション】					
コミュニケーションについて学び、患者のニーズを把握したり、意思決定を支援する力をつけよう (ラダー項目：A、B、E)	7	意思決定支援	3	6,000円(6,600円)	12,000円(13,200円)
	13	精神科看護に必要なコミュニケーションスキルの知識	1.5		
	15	プロセスレコードの基本	1.5		
セット⑥【疾患の理解とケア①】					
疾患を理解し、疾患の特性や治療をふまえてケアする力をつけよう～よく出会う疾患を中心に～ (ラダー項目：B、C)	37	統合失調症の理解とケア	2	10,000円 (11,000円)	20,000円 (22,000円)
	38	気分障害の理解とケア	2		
	39	発達障害の理解とケア	2		
	43	認知症疾患の理解とカンフォータブルケア	2		
	45	多飲水・水中毒の理解とケア	2		
セット⑦【疾患の理解とケア②】					
疾患を理解し、疾患の特性や治療をふまえてケアする力をつけよう～専門性の高い疾患を中心に～ (ラダー項目：B、C)	40	パーソナリティ障害の理解とケア	2	9,000円 (9,900円)	18,000円 (19,800円)
	41	摂食障害の理解とケア	2		
	44	アディクションの理解とケア	2		
	52	看護技術としてのグループアプローチ	1.5		
	54	アルコール依存症リハビリテーションプログラム(ARP)	1.5		
セット⑧【チーム医療・他職種の技法】					
他職種の専門性を理解し、チームでケアする力をつけよう (ラダー項目：B、C)	47	向精神薬の基礎知識	1.5	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)
	49	精神科薬物療法を受ける患者の看護	1.5		
	50	精神療法の基本	1.5		
	51	作業療法の基本	1.5		
セット⑨【家族・地域生活・リハビリテーション・リカバリー】					
地域や家族へ視点を広げ、ケアする力をつけよう (ラダー項目：C、D)	53	心理教育の基本と活用	1.5	6,500円 (7,150円)	13,000円 (14,300円)
	70	精神科におけるリハビリテーションとリカバリーの基礎知識	1.5		
	71	地域生活を支える社会資源の活用と連携	1.5		
	78	家族看護の基礎知識	2		
セット⑩【役割・個人情報・医療安全・感染予防】					
組織のメンバーとして、日々の業務を遂行できる力をつけよう (ラダー項目：G)	3	守秘義務と個人情報保護法	1	8,000円 (8,800円)	16,000円 (17,600円)
	84	組織における自身の役割と集団の特性	2		
	90	精神科に多い事故と医療安全対策	1.5		
	91	医療安全の基本と対処	1.5		
	92	感染予防策の基礎	2		

看護管理にかかわる研修会

NO.	研修会名	ねらい	開催方法・時間・日程 (2023年4月～2024年3月) 【再】は2022年度と同じ内容		会員受講料 税別価格 (税込価格)	非会員受講料 税別価格 (税込価格)
97	中堅ナースに必要な 診療報酬の基礎知識	診療報酬の仕組みについて理解し、政策提言の方法や経営的戦略を実現するための中堅ナースとしての役割を学ぶ	オンデマンド【再】(180分)	5/16(火)～2024/3/8(金)	3,000円 (3,300円)	6,000円 (6,600円)
98	人材の育成と活用	すぐれた人材を育成するために必要な教育、コミュニケーション、人材活用の方法を学び、質の高い医療、看護サービスの提供につなげる	オンデマンド【再】(180分)	5/16(火)～2024/3/8(金)	3,000円 (3,300円)	6,000円 (6,600円)
99	組織改革に必要な 看護管理者の役割と能力	看護のトップマネジャーとして、病院・看護部運営に必要なマネジメントを学ぶ。地域に開かれた病院の看護部長として、医療の動向や地域のニーズを把握して組織変革に取り組み、病院経営に参画できる知識を習得する	オンデマンド【再】(180分)	5/16(火)～2024/3/8(金)	3,000円 (3,300円)	6,000円 (6,600円)
100	管理者に必要な 組織デザインとリーダーシップ	管理者として必要な組織論、リーダーシップ論、問題解決技法を学び、適切に問題解決するスキルを習得し、組織に有効なリーダーシップを習得する	オンデマンド【再】(180分)	5/16(火)～2024/3/8(金)	3,000円 (3,300円)	6,000円 (6,600円)
101	病棟管理に役立つ 組織分析の理論と評価	組織変革に必要な基礎知識と手法を学び、自施設の強みと弱みを分析し、客観的に評価することで、今後の組織展望を考える	オンデマンド【再】(180分)	5/16(火)～2024/3/8(金)	3,000円 (3,300円)	6,000円 (6,600円)

診療報酬の算定にかかわる研修会

※「東京」＝東京研修会場（集合研修）、「兵庫」＝一般財団法人仁明会精神衛生研究所（集合研修）

NO.	研修会名	主な内容	開催方法・定員・日程 (2023年4月～2024年3月)		会員受講料 税込価格 (税込価格)	非会員受講料 税込価格 (税込価格)
102	認知症の理解とケア	●認知症原因疾患別の病態、治療、ケア ●認知症と類似した疾患の鑑別と対応 ●認知症患者へのケアの原則 ●身体的拘束を避けるためのケア ※テキスト「認知症ケアマニュアル」つき ※診療報酬施設基準に則る「認知症ケア加算２・３」算定の届出要件を満たす研修会	ライブ配信	6/10(土)～6/11(日) (2日間)	13,000円 (14,300円)	26,000円 (28,600円)
			東京 (80名)	10/20(金)～21(土) (2日間)		
			兵庫 (35名)	4/14(金)～15(土) (2日間)		
				2024/3/1(金)～2(土) (2日間)		
103	精神科訪問看護研修会 ～基礎編～	●精神科訪問看護の動向 ●精神疾患の理解 ●薬物療法の基礎知識 ●精神科訪問看護の実際 ●社会資源の活用 ●GAF ※診療報酬施設基準に則る「精神科訪問看護基本療養費」算定の届出要件を満たす研修会 ※部分受講不可	オンデマンド(18時間)＋ライブ配信(3時間) ※右記より1日選んで参加すること	5/16(火)～2024/3/8(金) ライブ配信実施日 6/17(土) 8/11(金) 10/1(日) 12/3(日) 2024/2/23(金)	21,000円 (23,100円)	42,000円 (46,200円)
			兵庫 (35名)	5/25(木)～27(土) (3日間)		
104	重度アルコール依存症看護	●薬物・アルコール依存症の病態生理と精神病理など ※診療報酬施設基準に則る「依存症入院医療管理加算」算定の届出要件を満たす研修会（対象疾患はアルコール依存症に限る） ※部分受講不可	東京 (40名)	10/7(土)～11(水) (5日間)	30,000円 (33,000円)	60,000円 (66,000円)
105	医療安全管理者養成研修会	●医療安全の基本的知識 ●安全管理体制の構築 ●情報収集と分析・対策立案から評価・事故発生時の対応など ※診療報酬施設基準に則る「医療安全対策加算１・２」算定要件を満たす研修会 （診療報酬改定により40時間以上の研修となりました） ※部分受講不可	東京 (80名)	2024/1/13(土)～16(火) 2024/1/24(水)～26(金) (7日間)	42,000円 (46,200円)	84,000円 (92,400円)
106	看護補助者活用研修会	●看護職員と看護補助者の業務分担 ●看護職員と看護補助者の協働のための体制整備 ●看護補助者への研修プログラム ※診療報酬施設基準に則る「看護補助者加算」算定に規定されている、看護師長が受講することが望ましい所定の研修として要件を満たす研修会	東京 (80名)	4/22(土) (1日間)	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,600円)
			兵庫 (35名)	5/6(土) (1日間)		

看護実習指導者講習会

2023年度(令和5年度)看護実習指導者講習会について

2021年度（令和3年度）より看護実習指導者講習会のカリキュラムが見直され、総時間が240時間から180時間となりました。また、日精看では看護実習指導者講習会でも一部オンライン研修会を取り入れて行っています。これまでより受講しやすくなった看護実習指導者講習会をぜひご活用ください。2023年度（令和5年度）は、看護実習指導者講習会の開講は8月頃の予定です。詳しい内容は、4月以降にお知らせします。

日本精神科看護学術集会

第48回 日本精神科看護学術集会in北海道

主　題：「あらためて問い直す精神科看護のあり方」
会　期： 2023年6月2日（金）～6月3日（土）
会　場： 札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）

第48回日本精神科看護学術集会は、昨年に引き続き、現地（北海道札幌市）での開催に向けて準備を進めています。COVID-19感染の状況は未だ予測できませんが、感染対策を徹底しながら開催する予定です。現地参加が難しい方には、充実したプログラムとたくさんの発表をオンデマンド配信でご覧いただく予定です。感染状況により、予定を変更する場合には、日精看オンラインおよび学術集会専用ページを通じてお知らせします。

日程	午前		午後
6/2(金)	基調講演	式典	精神科看護CONGRESS 共催セミナー 支部推薦論文発表 一般演題A・B発表
6/3(土)	精神科看護CONGRESS 支部推薦論文発表 一般演題A・B発表		シンポジウム 共催セミナー 支部推薦論文発表 一般演題A・B発表

※プログラムの内容や時間などは変更することがあります。最新情報は学術集会専用ホームページでご確認ください。

第30回 日本精神科看護専門学術集会 in 埼玉

会　期： 2023年11月22日（水）～11月23日（木・祝）
会　場： ソニックシティ（埼玉県さいたま市）

演題登録

- **一般演題A(看護研究報告、業務改善報告、実践報告)** >> 登録受付期間 2023/5/1（月）～6/30（金）
- **一般演題B(ワークショップ・交流セミナー)** >> 登録受付期間 2023/6/1（木）～6/30（金）
- **精神科認定看護師実践報告** >> 登録受付期間 2023/6/1（木）～6/30（金）

日本精神科看護学術集会に関する詳細は専用ホームページで

開催に関する基本情報やプログラムの内容など、専用ホームページ（www.jpna-gakujutsu.jp）に随時アップしていきます。演題登録や参加申込もこちらでご確認ください。過去の学術集会をダイジェストで振り返るコーナーもあります。

精神科認定看護師制度

精神科認定看護師の資格は、下記の流れで取得できます。制度の詳しい情報や精神科認定看護師の活動は、日精看オンラインをご確認ください。

jpna.jp/education/nintei

診療報酬の算定　下記の診療報酬には、精神科認定看護師が算定要件に含まれています。

- 療養生活継続支援加算
- 精神科リエゾンチーム加算
- 認知症ケア加算
- 機能強化型訪問看護管理療養費

精神科認定看護師になるまで

出願要件：看護師の免許取得後、5年以上、そのうち3年以上は精神科看護の看護実務経験が必要です
▶ 第18回精神科認定看護師受講資格審査（合格）：審査日：11/8（水）／小論文・書類審査
▶ 教育課程の受講（修了）：下記のカリキュラムを受講
▶ 精神科認定看護師認定試験（合格）
▶ 精神科認定看護師

現行制度で実施（精神科認定看護師制度改正は2025年度以降を予定）

2023年度(令和5年度)精神科認定看護師教育課程 カリキュラム一覧

	記号	研修会名	日数	定員	方法	日程	科目名(単位数)	会員受講料 税別価格(税込価格)	非会員受講料 税別価格(税込価格)
研修会（基礎科目・専門基礎科目・専門科目）	A	精神科看護基礎Ⅰ 精神科看護の基本	4		集合	4/9（日）～4/12（水）	看護倫理 (1)、精神科看護学 (1)	24,000円 (26,400円)	48,000円 (52,800円)
	B	精神科看護基礎Ⅱ 精神科看護の制度と管理	6		ライブ配信	4/17（月）～4/22（土）	精神科看護に関連した法規と制度 (2)、医療安全管理 (1)	36,000円 (39,600円)	72,000円 (79,200円)
	C	精神科看護基礎Ⅲ 精神科看護の実践知の蓄積と活用	4			4/26（水）～4/29（土）	情報管理と表現法 (1)、看護研究 (1)	24,000円 (26,400円)	48,000円 (52,800円)
	D	対象理解Ⅰ 医学的モデルによる対象理解	8	80		5/1（月）～5/4（木） 5/7（日）～5/10（水）	精神科診断治療学 (4)	48,000円 (52,800円)	96,000円 (105,600円)
			6			5/12（金）～5/17（水）	臨床薬理学 (2)、精神薬理学 (1)	36,000円 (39,600円)	72,000円 (79,200円)
			6			5/20（土）～5/25（木）	フィジカルアセスメント (3)	36,000円 (39,600円)	72,000円 (79,200円)
	E	対象理解Ⅱ 精神保健福祉における個別課題	6			5/27（土）～5/29（月） 6/7（水）～6/9（金）	精神保健福祉 (2)、家族援助論 (1)	36,000円 (39,600円)	72,000円 (79,200円)
	F	精神科看護Ⅰ 看護状況	4			6/12（月）～6/15（木）	精神科救急・急性期看護 (1)、行動制限最小化看護 (1)	24,000円 (26,400円)	48,000円 (52,800円)
	G	精神科看護Ⅱ 地域生活を支える看護	4			6/18（日）～6/21（水）	退院支援 (1)、精神科訪問看護 (1)	24,000円 (26,400円)	48,000円 (52,800円)
	H	組織内における活動	6			6/25（日）～6/30（金）	看護サービス論 (1)、リーダーシップ論 (1)、教育論 (1)	36,000円 (39,600円)	72,000円 (79,200円)
	I	チーム医療	6	40	集合研修	7/2（日）～7/7（金） 7/14（金）～7/19（水）	コンサルテーション論 (1)、チームアプローチ論 (1)、リエゾン精神看護 (1)	36,000円 (39,600円)	72,000円 (79,200円)
	J	患者-看護師関係 援助関係	4			7/9（日）～7/12（水） 7/22（土）～7/25（火）	対人関係論 (1)、精神科看護学 (1)	24,000円 (26,400円)	48,000円 (52,800円)
演習		演習	4	80		8/5（土）～8/7（月）および 2024/1/6（土）～1/7（日）	演習 (1)	40,000円 (44,000円)	80,000円 (88,000円)
実習		実習Ⅰ	18			実施施設と自施設で9月～12月に実施	実習Ⅰ (3)	60,000円 (66,000円)	120,000円 (132,000円)
		実習Ⅱ	12				実習Ⅱ (2)	40,000円 (44,000円)	80,000円 (88,000円)
中間試験		中間試験	1		集合	8/4（金）	基礎科目、専門基礎科目の単位認定を実施	6,000円 (6,600円)	12,000円 (13,200円)

※講義時間：9時～16時　※集合研修、中間試験の会場：東京研修会場（演習は東京研修会場の近隣）　※補講日：7/27（木）、7/28（金）、7/29（土）、8/16（水）

精神科認定看護師をめざす方のための説明会(無料)

日　　程： 2023/5/30（火）
開催方法： Zoomによるライブ配信

精神科認定看護師ブラッシュアップ研修会

精神科認定看護師のための実践力を高めることをねらいとした研修会です。お申し込みは、精神科認定看護師の方に限ります。

日　程： 9/10（日）～9/11（月）
内　容： 実施方法・プログラムはホームページ等でお知らせします
会員受講料： 12,000円（税別価格）/ 13,200円（税込価格）

研修会のお申し込みは「manaable（マナブル）」で

2023年
3月1日(水)10時
申込受付
スタート

2023年度より、研修会システムが「manaable（マナブル）」に変わります！

2023年度より日精看の研修会（本部・支部）への申し込みやオンライン研修の受講には、1人ずつ「manaable（マナブル）」の利用登録が必要です。登録や利用の方法は、日精看オンラインでマニュアルをご参照ください。

●会員価格で受講する場合

今後は、研修会の申し込み時に会員であることが必須になります。研修会の申し込みは①～③の流れで行ってください。

①2023年度の入会手続き（2022年度会員の方は継続手続き）を行います。会員証が手元に届いたら入会手続き完了です。
②「manaable（マナブル）」の利用登録を行います。
利用登録には、メールアドレスが必要になります。
③「manaable(マナブル)」から研修会の申し込みを行います。

●非会員の場合

「manaable（マナブル）」の利用登録を行ってから研修会の申し込みを行ってください。

日精看オンラインからアクセス！

パソコンでもスマホでも

jpna.jp

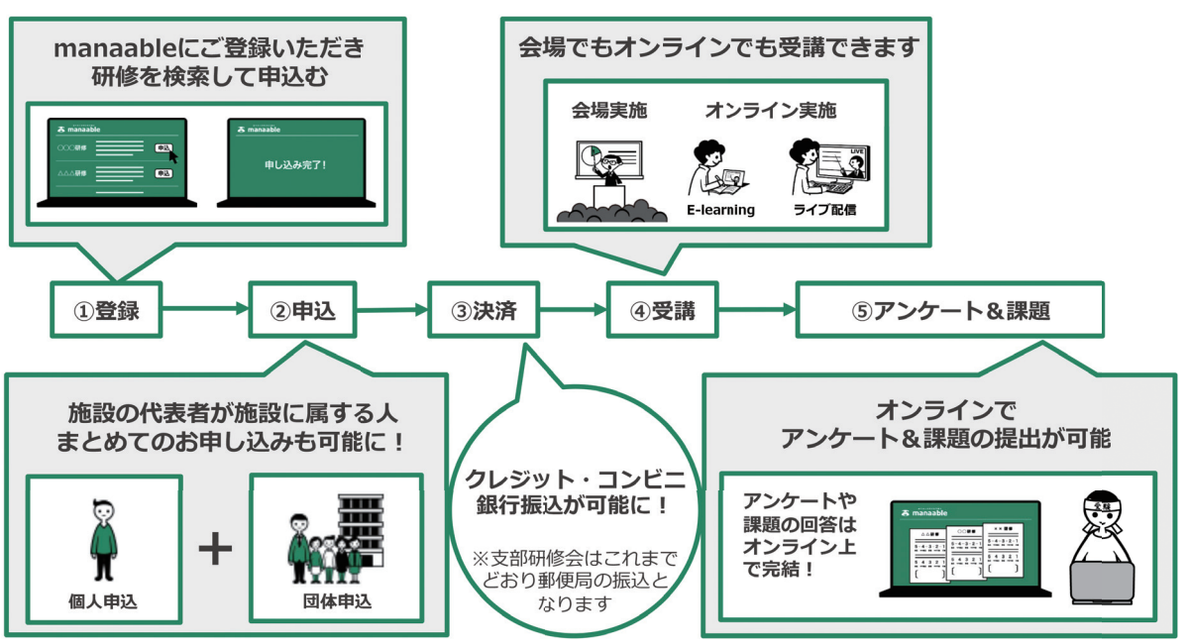
（拡大図）

2023年度研修会 manaable

このバナーをクリック！

ー「manaable(マナブル)」の特徴 ー

●研修会の検索や申し込み、受講案内などすべてがオンライン化！
●施設申込代表者が自施設のスタッフをまとめて申し込むことが可能に！
●決済方法が便利に！クレジット・コンビニ・銀行振込が可能になります（支部研修会はこれまでどおり郵便局の振込となります）



『日精看スタディガイド 2023』2023年（令和5年）1月22日発行